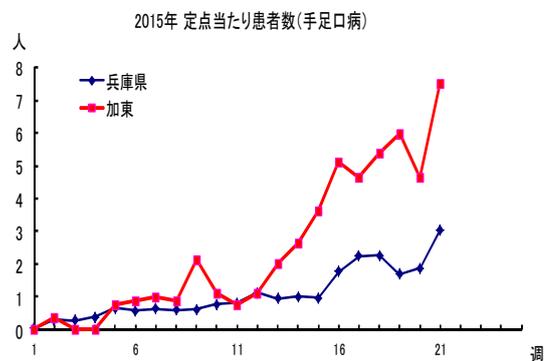


# 手足口病にご注意！

## 手足口病が流行しています

手足口病は、夏期に流行する乳幼児の感染症です。本年は例年よりも早く流行し始め、北播磨地域でも患者数が増加し、5月に警報レベルになっています。

年齢別では、2歳、3歳の患者数が多く、0～5歳が全体の9割近くを占めています。



## 手足口病とは？

### 症 状

感染してから3～5日を経て、軽い発熱、食欲不振、喉の痛み等で始まり、口の中、手のひら、足に2～3mmの水疱性発疹ができます。

### 感染経路

せきやくしゃみによる飛沫感染、鼻・喉の排泄物、糞便等を介しての経口・接触感染があります。

### 対応のポイント

水分補給を心がけておけば数日で回復しますが、まれに髄膜炎、小脳失調症、脳炎などを合併することがありますので、高熱、嘔気、強い頭痛、不機嫌な時は、早めに医療機関を受診しましょう。

## 予防のポイント

### (1) 流水と石けんによる手洗い、うがいが有効です。

特に乳幼児の世話をされる方はよく手洗いすることが重要です。また、タオル、ハンカチは個人専用の清潔なものを、できればペーパータオルを使用しましょう。

### (2) 排泄物を適切に処理しましょう。

症状回復後も2～4週間、ウイルスが便の中に排出されるため、二次感染に注意が必要です。おしめ交換後の手洗いをお忘れなく！



(参考)

厚生労働省ホームページ「手足口病に関するQ&A」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/hfmd.html>

兵庫県立健康科学研究所健康科学研究センター「兵庫県感染症情報」

<http://www.hyogo-iphes.jp/>

相談・お問合せ：兵庫県加東健康福祉事務所健康管理課  
(直通：0795-42-9436)